

# 日常性の哲学

萩原朔太郎エッセイ・セレクション

四六判／並製／PP加工 定価2400円＋税

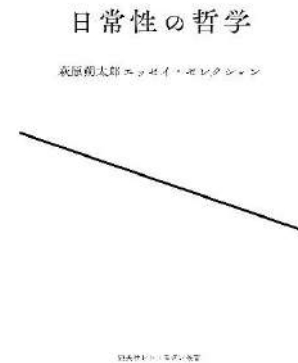
萩原朔太郎生誕140周年記念企画

## 【日本近代詩の父、晩年の思索】

晩年にエッセイの普及に力を注いだ萩原朔太郎 その知られざる軌跡が明らかに。日本文学の行く末を案じた天才詩人が記す50編のエッセイ・セレクション。

〈解説：堀辰雄 萩原朔太郎関連年譜付き〉

ブックデザイン：川添英昭



解説・晩年の朔太郎 堀辰雄  
編集後記  
編者補論・随筆の思想／エッセイの思想  
萩原朔太郎関係年譜

- I 気になる人間と文化：二四編
- II 様々な場所ともの：一四編
- III 自分とは何者か：九編
- IV 随筆とエッセイ：二編

はじめに・日常性の哲学

―白鳥氏の名づける「日常性の哲学」は、エッセイの訳語としては好訳ではない。だがエッセイの説明としては明解であり、日本の文壇に指示するところが多分にある。(本文より)

ご注文は取次 JRC へ FAX 03-3294-2177

JRC 経由ですべての取次へ出荷可能です。返品は長期に承ります(返品条件付き注文扱い)

貴店名	ご注文数	日常性の哲学 - 萩原朔太郎エッセイ・セレクション ISBN978-4-9913585-3-1 C0093
ご担当者	様	(有)鹿美社 〒276-0003 千葉県八千代市大学町2-11-6 E-MAIL: 6048llpg@jcom.home.ne.jp